

(様式1)

職業実践力育成プログラム(BP)への申請について

申請日: 令和7年5月28日

①学校名:	四国大学大学院		②所在地:	徳島県徳島市応神町古川字戎子野123-1	
③課程名:	四国大学大学院 数理・データサイエンス・AIプログラム				
④正規課程／履修証明プログラム:	履修証明プログラム	⑤定員:	7名	⑥期間:	1年間
⑦責任者:	経営情報学研究科長 池田 充郎		⑧開設年月日:	令和3年4月1日	
⑨申請する課程の目的・概要:	時代の変化に敏感な地域社会の要請に応え、地域産業等におけるビジネス戦略に欠かせない数理・データサイエンスとAIの知識・技能を学ぶ機会を提供するため、数理・データサイエンス・AI 関連学修プログラムを開設し、業務の効率化や最適化に不可欠なAI活用能力を育成することを目的とする。				
⑩10テーマへの該当	1 女性活躍 ○	3 中小企業活性化 ○	5 環境保全 ○	7 医療介護 ○	9 起業 ○
	2 地方創生 ○	4 DX ○	6 就労支援 ○	8 ビジネス等 ○	10 防災危機管理 ○
⑪履修資格:	次の①または②の要件を満たす者としてします。 ①数理・データサイエンス・AIに関心があり、学修することを希望する企業従業員・管理者・経営者、自治体等職員、医療福祉従事者、教育関係者など ②大学を卒業した者、または実務経験3年以上で大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者				
⑫対象とする職業の種類:	AI 活用の必要性を感じている者及び数理・データサイエンス・AI に関心があり、学修することを希望する企業従業員・管理者・経営者、自治体等職員、医療福祉従事者、教育関係者など				
⑬身に付けることのできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能) 数理・データサイエンス・AI に関する専門的な知識と、具体的に適用できる技能 (得られる能力) ビジネス実務・サービス実務・災害対策・医療福祉等に数理・データサイエンス・AIを活かすことのできる能力				
⑭教育課程:	データサイエンス特論ではデータ分析の修得を、数理情報学特論ではディープラーニングの適用を、人工知能(AI)特論ではデータ活用による価値創造サイクル及びAI・データ数理の知識・応用技能を修得させる。また、統計学特論で統計学的概念と手法の理解を、統計データ分析ではビッグデータの分析を修得させる。いずれも議論や発表などを通じて理解度を高めるとともに、パソコンを用いて実践的にデータ処理を行うこと等で技術力を高める。				
⑮修了要件(修了授業時数等):	必修科目8単位、選択必修科目2単位を含む12単位以上を修得すること。				
⑯修了時に付与される学位・資格等:	四国大学大学院 数理・データサイエンス・AIプログラム履修証明書 及び四国大学大学院 数理・データサイエンス・AIエキスパート(四国大学認定)				
⑰総授業時数:	22	単位	⑱要件該当授業時数:	22	単位
			⑲要件該当授業時数／総授業時数:	100	%
⑲該当要件	企業等	双方向	○	実務家	○
				実地	
⑳成績評価の方法:	授業時の議論への参加状況、試験及びレポートなどを総合的に勘案し、評価する。				
㉑自己点検・評価の方法:	学校教育法第109条第1項に定める評価を実施する。「四国大学職業実践力育成プログラム推進会議」において、本プログラムの目的達成のために必要な評価の基準を設けて自己点検し、企業等の意見を取り入れるとともに、修了者に対するアンケート等を実施するなど、現状を正確に把握・認識した上で自己評価をう。また、当該検証・評価結果についてはホームページにおいて公表する。				
㉒修了者の状況に係る効果検証の方法:	修了者に対し、一定の期間を経て、当該四国大学大学院 数理・データサイエンス・AIプログラムがどのように役立っているかアンケートを実施し、報告させる。				
㉓企業等の意見を取り入れる仕組み:	(教育課程の編成) 多くの経済人が集い、有益な提言によって地域経済社会の発展のために尽力している徳島経済同友会と連携協力して「四国大学職業実践力育成プログラム推進会議」(BP推進会議)を設置している。BP推進会議は、本学関係者及び本学が委員を委嘱した徳島経済同友会に所属する者で構成し、本プログラムをより有効・効果的なものとするために、教育課程及び自己点検・評価等に関する協議を行う。 (自己点検・評価) 多くの経済人が集い、有益な提言によって地域経済社会の発展のために尽力している徳島経済同友会と連携協力して「四国大学職業実践力育成プログラム推進会議」(BP推進会議)を設置している。BP推進会議は、本学関係者及び本学が委員を委嘱した徳島経済同友会に所属する者で構成し、本プログラムをより有効・効果的なものとするために、教育課程及び自己点検・評価等に関する協議を行う。				
㉔社会人が受講しやすい工夫:	昼夜同一科目開講システム、夜間(18:00～19:30、19:40～21:10)、集中講義は休日、オンライン受講。 図書館は夜間(9:00～21:30)も開放。				
㉕ホームページ:	(URL) https://www.shikoku-u.ac.jp/academics/graduate/keiei/				

事務担当者名:	加川 翔子	担当部署:	教育・学生支援部 教育支援課
事務担当者連絡先:	(電話番号) 088-665-9922 (担当係E-mail) kyoumu@shikoku-u.ac.jp		

* パンフレット等の申請する課程の概要が掲載された資料を添付してください。

* 様式に記載いただいた内容と欄外の「※集計用データ(文部科学省使用)」に記載の内容が、一致しているかを必ずご確認ください。